受　験　番　号

２０２７年度　創価大学　学部帰国学生　入学試験

法学部 事前課題

問題１と問題２の両方に解答しなさい。

＜問題１＞

あなたが海外滞在中に経験した、あるいは現地で強い関心を持った社会的課題（文化・習慣・法制度の違いに起因する葛藤や問題を含む）をひとつ挙げなさい。その課題の概要と、なぜあなたがそれに問題意識を抱いたのかを自身の実体験に触れながら具体的に説明しなさい。さらに、その課題に対して、法や社会規範、あるいは国際的な制度の観点からどのような解決策が考えられるか、あなたの考えを論理的に述べなさい。

【　解　答　欄　】

問題２につづく

＜問題２＞

次の文章は、総務省が地方公共団体向けに策定した「地域における多文化共生推進プラン」の一部である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

地域における多文化共生を推進することは、「外国人住民の受入れ主体としての地域」「外国人住民の人権保障」「地域の活性化」「住民の異文化理解力の向上」等の意義を有している。（中略）

住民に提供される行政サービスや履行しなければならない義務の内容、地域社会で生活する上で必要となるルールや慣習、地域が主催するイベント等について、多言語（やさしい日本語を含む。以下同じ。）での情報提供を行う。（中略）

家庭ゴミ等の一般廃棄物の取扱い等、地域における生活ルールを巡って、外国人住民と日本人住民との間に起こるトラブルは、生活習慣の差異に起因する場合が多いことから、地域のルール等を外国人住民に周知するオリエンテーションの仕組みを、自治会、ＮＰＯ等と連携して構築する。（中略）

審議会や委員会等の会議への外国人住民の参加を促進し、地方公共団体の施策に外国人住民の意見を広く反映させる仕組みを構築する。

出典：総務省「地域における多文化共生推進プラン（改訂）」（令和２年９月）（https://www.soumu.go.jp/main_content/000706218.pdf）５、７、14、15頁より、一部を改変・省略の上、抜粋。

【問い】

外国人住民の側と受け入れる地域の側が、地域社会の一員として果たすべき義務とは何かに触れながら、「権利は、義務を果たしてはじめて認められるものだ」という考え方について、あなたの見解を600字以内で述べなさい。その際、あなたの海外での経験や日本に帰国後の経験を具体的に挙げてください。

解答欄につづく

【 解 答 欄 】

２５０字

５００字

６００字

問１	問２	合　計

2027 年度帰国学生入試　国際教養学部以外
解答上の注意

１．解答は、必ず受験者本人が鉛筆で記入してください。

　＊大学使用欄には何も記入しないでください。

２．本学では生成 AI の利用に関する方針を定めています。2027 年度帰国学生入学試験要項に記載の「生成 AI 利用方針」を確認のうえ、回答する際には、その内容に十分留意してください。